

2023年8月10日

今月のひとこと

【Vol.248】 今月のひとこと

今月の
ひとこと

投資家4つのタイプとアドバイザーの役割

私は投資を実際に行っている人、興味を持つ人には4つのタイプがあるのではないかと考えています。投資家は自分がどのタイプか、アドバイザーは相談者がどのような立場か、それをしっかり知っておくことが投資で成功する鍵だと思います。

順不同ですがタイプ1の投資家はいわゆる富裕層。こういう人は普通、証券会社とか銀行ががちり押さえていて、その人たちの言いなりになっているのが普通のように思います。外部に税理士さんをお願いしているのが普通でしょう。このグループには本来、ホンモノのアドバイザーがもっともっと入っていくべきだと思います。欧米などでは個人企業的なアドバイザーが代々、ファミリーに仕えているケースが多いように思います。



2番目のタイプは、何かの理由によって最近まとまった資金が入った人。例えば退職金、相続、中には宝くじが当たったということもあるかもしれません。私はこのタイプを湧き水ならぬ「湧き金タイプ」と呼んでいます。これは金融機関がもっとも群がる人たちです。湧き金に酔っている人も多いもの。その意味では一番危ない人でしょう。本来、本物のアドバイザーの活躍の場とも言えます。しかし、販売を担当する金融機関にとっても絶好のお客です。ですから競争も厳しい。本人の資産運用にどのくらい知識を持っているかに拠りますが、「金融機関にお任せするのはちょっと」という人は助言登録をしているアドバイザーに相談する人も多いでしょう。

3番目に小金を持っていて、自分なりに勉強をして投資を楽しむ趣味の投資家です。このタイプ、私は「マネー・マニアタイプ」と名付けています。就業中の若い人もいれば、退職後の脳トレ投資家もいると思います。日経などの経済誌、四季報なども毎号、目を通し、投資セミナーにも参加をします。経済・投資関係のテレビ番組もしっかり見えています。中にはチャート分析やテクニカル指標を研究している人もいるでしょう。こういう人たちは投資そのものが非常に楽しみであり、また学ぶことも非常に楽しんでいます。個別銘柄を売買するのを楽しむタイプの人です。アドバイザーの立場はむしろ講演活動や出版を通じて投資の考え方を伝えるケースが多いだろうと思います。

そして最後の4番目が投資に無縁なサラリーマンです。投資に興味はないが、しかし、リタイア後の将来については不安がある。生活にそれほど余裕はないが、リタイア後のために少しずつ資産形成をしていきたいという考え方を持っています。この4番目のタイプは「生活重視タイプ」です。仕事に関連したことがあれば経済とか金融についてある程度、知っているかもしれませんが、証券、投資、株式市場についてはそれほど興味もなくまたそれを学ぶためにお金も時間もあまりかけたくない、そんな人たちです。

恐らく日本には「生活重視型タイプ」が一番多いのではないのでしょうか。しかし、また大きな間違いを犯すことも多い人たちです。金融機関に相談してみると何か勧められそうで恐い。迷っているうちに時間が経ってしまい貴重な時間という味方が弱ってしまう。その点で金融商品の販売にかかわらない専業・プロのアドバイザーを最も必要としている人だと思います。人生を通じて節目、節目で生活、お金、投資、人生などのアドバイスを与えてあげる。その意味ではアドバイザーとしての知識、経験、倫理観、何よりも人格が重視される役割です。言うまでもなくFIWAの役割はそのようなアドバイザーを育成し、認定し、支援することです。

アドバイザーの話に納得して20年、30年経ったときに「あの時、あなたと出会って本当によかった」と言ってもらえる、ある意味、アドバイザー冥利につける仕事ができるのはこの層の人たちです。しかし、また、アドバイザーとしての収益性もそれほど高くない。従って、アドバイス料は限定的でも顧客数を抱える必要がある。カスタムメイドの資産運用アドバイスは難しいので誰でも簡単にできるシンプルな方法をアドバイスしてそこから逸脱しないようにサポートする。その運用手法が私の提唱する「75文字の資産運用」です。75文字の資産運用はいわばフリーサイズの洋服のようなものでこのタイプの人であればほとんどどなたにでも合う方法です。投資に興味はないが将来が不安というかたもぜひFIWAのホームページ (<https://fiwa.or.jp/>) をご覧ください。



FIWA®からののお知らせ・セミナー予定

FIWAマンスリー・セミナー #215

開催形式： On Line

主催担当： 赤堀薫里

開催日時： 8月20日 12:30～15:30

講演・講師： 講演1：岡本 和久 「ウォール街のランダムウォーカー」を読みとく第1回「株価と価値：ランダム・ウォーク派とファンダメンタル価値派、バブルの歴史」（全4回）

講演2： 中野 晴啓氏 「私が目指したい投資信託業界の理想」

備考： お申込みは開催日の三週間前より以下のサイトにて承ります

<https://happymoney.stores.jp/>

参加費： 3300円

FIWA サムライズ勉強会 #65

開催地： 東京

主催： 担当 岩城みずほ 赤堀 薫里

開催日： 9月1日(金) 19:00～20:45

会場： 教室とZoomによるハイブリット開催

講演： 今、何をすべきか～短時間労働者の社会保険適用拡大に関する方法について～

教室受講の方は懇親会（1時間程度）にもご参加いただけます。

講師： 慶應義塾大学商学部教授 権丈 善一（けんじょう よしかず）氏

備考： 主催：NPO法人みんなのお金のアドバイザー協会

お申込先：<https://somerise.net/2023/07/26/1773/>

FIWAセミナー FIWA 設立4周年記念セミナー

開催地： 東京

主催： 担当：岩城みずほ・赤堀薫里

開催日時： 9月8日(土) 18:30～:20:15

会場： 教室にて講演・懇親会

講演： 長期投資で幸せで豊かな人生にしよう！

プログラム：

- ・「すべては生活者のために～FIWA4年間の歩みとこれから」 FIWA 理事長 岡本和久
- ・「新 NISA で始まる我が国の金融立国化」 FIWA理事 中野 晴啓氏
- ・質疑応答
- ・懇親会 20:15～22:00

参加費：

- ・セミナー会費：1,100円（税込）
- ・懇親会：4,000円（飲み放題・立食）

主催： NPO法人みんなのお金のアドバイザー協会

詳細：<https://fiwa.or.jp/2023/08/01/4194/>

FIWAマンスリー・セミナー #216

開催形式： On Line

主催担当： 赤堀薫里

開催日時： 9月17日 12:30～15:30

講演・講師：

- ・岡本 和久「ウォール街のランダムウォーカー」を読みとく第2回「プロの投資家の成績表～テクニカル分析とファンダメンタル分析」（全4回）
- ・経営コンサルティング 津曲 真樹氏 「投資教育が目指すもの（仮）」

備考 お申込みは開催日の三週間前より以下のサイトにて承ります

<https://happymoney.stores.jp/>

FIWAマンスリー・セミナー #217

開催形式： On Line

主催担当： 赤堀薫里

開催日時： 10月15日 12:30～15:30

講演・講師

岡本 和久「ウォール街のランダムウォーカー」を読みとく第3回「新しい投資のテクノロジー～FIWA®リスク・リターン・相関、CAPMと行動ファイナンス」（全4回）

澤上 篤人氏「資産運用業界のチャレンジ」

備考 お申込みは開催日の三週間前より以下のサイトにて承ります

<https://happymoney.stores.jp/>

FIWA presents 「マネーマネーマネーfor you」 開催中

金融商品の販売にかかわらない独立系アドバイザーが集まっていNPO法人みんなのお金のアドバイザー協会（FIWA）で、新しくポッドキャスト配信を始めました。ポッドキャストとは、後からいつでも聞くことができるラジオのようなものです。今後はFIWA会員のゲストトークも予定しています。



パーソナリティは小屋と、キャサリンとナンシーの3人が務めています。お金に関するさまざまな気になることを楽しく語っています。40代の子育て中の3人が幅広くFIWAのことを知ってもらうために、頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。



マネーマネーマネーfor you



今月号の記事をすべてダウンロード

このページを印刷する

カテゴリー

今月のひとこと

タグ

【Vol.248】 2023年08月15日発行



2023年8月10日

FIWAマンスリー・セミナー講演 1

【Vol.248】FIWAマンスリー・セミナー講演より（講演1）

インフレ率アップが日本企業のROE,PBR,株価を押し上げる

講演：竹中 正治氏
レポーター：赤堀 薫里

竹中 正治氏 プロフィール

龍谷大学経済学部教授（アメリカ経済論、国際金融論）、京都大学博士（経済学）

1979年東京大学経済学部卒、同年東京銀行入行（現三菱UFJ銀行）、為替資金部次長、調査部次長、米国ワシントン駐在員事務所長、（公益財団法人）国際通貨研究所チーフエコノミストなどを経て09年4月より現職。毎日新聞社週刊エコノミスト、トムソン・ロイター社コラム、講談社現代ビジネス、ダイヤモンドオンラインなどへの寄稿他著書多数。



近年の主要著書

- 「ラーメン屋vs.マクドナルド、エコノミストが読み解く日米の深層」新潮新書2008年
- 「今こそ知りたい資産運用のセオリー」光文社2008年
- 「これから10年外国為替はこう動く」（国際通貨研究所・竹中正治編）PHP研究所2009年
- 「なぜ人は市場に踊らされるのか？」日本経済新聞出版社、2010年
- 「米国の対外不均衡の真実」晃洋書房、2012年
- 「稼ぐ経済学～黄金の波に乗る知の技法」光文社、2013年
- 「資産形成のための金融・投資論～黄金の波に乗る知の技法～」Kindle、2020年10月

証券取引所が『PBRを1倍割っている企業は、資本効率が悪すぎる。経営者はもっとしっかり仕事をしろ』というような通達を出しています。結構インパクトを与えているようです。金融庁もそうした動きに歩調を合わせて『日本の企業はもっと資本効率を改善する経営改革をしなければいけない』と言っています。もう少し前は、経済産業省も一橋大学の伊藤先生を中心に『日本企業の資本効率の向上と長期的成長に向けていろいろ改革をしなければいけない』、という伊藤レポートを3次にわたって取りまとめています。

こうした日本の企業経営に過去20年、もしくは90年代以降いろいろな問題を抱えていることは、私もその通りだと思います。一言でいうと、リスクを伴う新規事業の開拓に経営者が消極的すぎるのではないのか。あるいは情報通信技術の急速な技術的な環境の変化に合わせて、業務やビジネスフローの変化が遅いのではないのか。既存の過当競争の市場でコスト削減、賃金の抑制に20年間汲々にして、逆にそれが全体的にもミクロ的にも閉塞な状態を作っていたと思います。

一つ見落とされている問題は日本企業の平均的なPBRと、自己資本に対する利益率ROEの低さです。これは個別の企業経営者の問題だけではなくて、過去四半世紀続いてしまったデフレ、低インフレというマクロ経済環境が深く関わっているという論点が、どうもスポッと落ちてしまっていると私は思っています。

その議論を考えました。一株当たりの純資産に対する株価PBRは、ROE（自己資本利益率）とPER（株価収益率）に分解でき、二つの変数の掛け算になります。さらにROEは4つの要素に分解できます。最初の要素は、売上高に対する利益率です。2番目は総資産の回転率。3番目は財務レバレッジです。これは自己資本比率の逆数になります。これを頭に入れて考えていこうと思います。実は、インフレ率が低くなると企業の平均のROE、自己資本に対する利益率が低くなります。逆にインフレ率がアップするとROEも上がる。割と直感的にそうじゃないかしら？と思いはじめている人もそこそこいらっしゃるのではないかと思います。

なぜインフレ率とROEが関係するのか。ROEの分母ですね。企業のバランスシートの資産と負債の差額。これは簿価ベースで純資産です。一方で負債サイドは、借入金、社債その他の債務からなり、皆、名目額が固定されているので、短期的な物価の変動はそんなに受けない。資産サイドを見ると短期の資産は売掛金や在庫品など、割と物価の変動をある程度反映する項目がありますが、長期の固定資産は有形無形を含めて、取得時の原価を基準に減価償却費を引いた簿価です。物価の変動とは極めて無関係、もしくは極めて鈍くしか反応しない。分母サイドはあまり物価の変動に合わせて動かない。一方ROEの分子は純利益です。純利益は売上高から各種のコストを引いたものです。売上高は、販売数量×価格ですから、ここはもろに物価の上昇率が響いてきます。各種のコストを引いた残余。コストも変動費と固定費があります。変動費は物価の変動を割と反映します。固定費は短期中期では物価の変動を受けない。こうした事情によってインフレ率とROEは、正の相関関係があります。

日本のROEは低いと言われ続けてきましたが、ROEを構成する3つの項目の中でどれが日本は低いのか。これは2019年に経済産業省が分析している資料から、主要企業の平均値を出しています。売上高利益率をみると2018年当時、日本は上がってきてはいますが5%台です。この当時のアメリカは8~9%台と比べて低い。次に総資産回転率は、日本もアメリカもほとんど変わらない。財務レバレッジの比率は、2014年くらいまでは日本企業もアメリカ企業も大体同じくらいありました。

その後の2014年以降、アメリカの企業は財務レバレッジ比率が上がってきます。逆にいくと自己資本比率が下がっています。この時期はリーマンショックの痛手も癒えて、低金利だし、バンバン低金利でお金を借りてROEを高めよう。自社株買いでROEを高めようよ。そういう企業がアメリカで非常に増えてきた。日本の企業は低金利が続いてきててもやってこなかったのがここで差がついた。

ただ自己資本比率をどんどん下げているという話にはならない。必要以上にリターンの低い資産を持っている。預貯金をジャブジャブ持っているというのは論外ですが、これは程度の問題です。日本企業にとってROEを高めることに重要な売上高利益率をいかに上げていくことなのか。それも3つの要素をみるとわかります。

講演では、ROEとインフレ率がなぜ関係するのか、ROEに対して経済的な変数として強く影響を与える景気動向指数と消費者物価指数の回帰分析をして説明。また、ROE向上のために日本企業は何をすべきか。なぜ高いROEに、より高いPBRが対応するのかについて解説。最後に中期的な日本株の動向への含意と『PBRひきあげろ』という動きに感じる懸念をお話いただきました。

Free Discussion

岡本 | 配当込みのTOPIXが2021年1月に新値をとって、それ以来、現在は過去の高値から22%上昇している。これは、配当金をたくさん払っているということです。それから自社株買いとか。残りの資金、内部留保はどこにしているのかというと大部分は銀行預金で0金利を稼いでいるわけです。企業としてのROEが低下していくことは当たり前です。株を買うということは企業の株主資本を買っているということです。企業としてのROEが低下すると

ということは、その収益率が下がっているということですから、株の魅力がないということにつながってきています。このように金利が目に見えるようになってくると、少しずつ変わってくるのでしょうか。やはり重要なことは、配当金を払うのはいいけれど、内部留保をいかに新しい事業に投資をするか、現在の企業の平均ROE以上の分野に投資をしていくかということだと思います。そうしないと企業としてのROEは上がらない。竹中さんにお伺いしたいのですが、ROEが上がっていく前提として、それでは内部留保をどういう分野に投資をしていけば、竹中さんが描いているようなROEの上昇につながっていくのかな？という部分を教えていただきたいです。

竹中 | どういう分野にキャッシュを投資していけばROEが上がるのかは、業界ごと、あるいは企業ごとに違う話なので、一般的な答えがあるわけではありません。一つ感じていることは、アメリカのS&P500。いわゆるGAFAMと呼ばれる5つを除いたS&P495を計算すると、実は日経平均やTOPIXとあまり変わらない結果が出てきます。何が言いたいかというと、GAFAM、あるいはテスラを入れて6社かもしれませんが、世間を席捲するような5~6社を過去20数年の間に生み出すためにアメリカは、みんな最初はベンチャー企業として生まれてきました。何万社、何十万社というベンチャー企業が生まれて、その淘汰の中で、後は消えていっているものがたくさんあるわけです。生き残った5~6社がグローバルに席捲する大企業になってアメリカの株価に貢献している。

こういう、まさにアメリカ的創造的破壊。あるいは新陳代謝。この激しさですね。同じような事が日本ではできそうな気がしません。ある程度競争環境を政府が作っていないといけない。本当に長期的な第3の成長は起こりにくいであろう。危機の時というのは、戦後の日本も焼け野原になってしまっていて、1から用意ドンと競争するしかなかった状況でスタートしました。そういう中から生き残った企業が、ソニー、トヨタ、松下が伸びてきたわけです。そういう創造的破壊。クリエイティブ・ディストラクション。

日本に足りないのはこれでないのか。ヨーロッパにも足りないですけどね。あんな事ができているのは、アメリカだけのような気がします。ある程度同じ規模でできなくても、過去20年、30年の政府の政策を見ていると、現状を維持するために一生懸命お金を費やしている。これではいかんよね。ただ、今回の岸田政権の骨太の政策をみると、労働市場改革とか、あるいは貯蓄から投資へとか、新産業へとか、割とバランスよくやらなくてはいけないことが盛り込まれていて、あまりできないと決めつける必要はないのではないのかと思っています。そこそこ、ポジティブな気持ちでみています。

岡本 | 貯蓄から投資へというのは、一番重要なのは、個人ではなくて、企業ですよ。貯蓄している場合ではないだろう。投資をしると！終戦の翌年、この1946年に二つ企業が生まれています。ソニーとホンダです。あの時代に、あの二つの企業が起業したというところがすごいなと思います。マイクロソフトが創業したのは1975年です。オイルショックの後でガタガタになった時です。アップルの創業は翌年の1976年。あの時にできた企業が今のアメリカ経済全体を引っ張っています。

日本も何か全く新しいものを作って全世界でそれが使われるようになってくるといい。かつてウォークマンや家庭用ビデオ、ウォシュレットなど、世の中になかった商品を日本が開発して、それが世界中で使われるようになった。新しい産業を作る気概を持って設備投資をする。ただ単に万一の事があったときにお金があったほうが安心だからというだけだったならば、株主はむしろ銀行に預金していた方がいいやということになりますからね。要するに企業マインド、アニマルスピリット。そこはもうちょっと頑張ってもらいたいと思います。

参加者 | 二つあります。ひとつは、新NISAで今以上に日本株買いが選ばれるためにはどのようなことが必要なのでしょうかとという抽象的な議論。もう一点は、セゾン投信の中野さんの件です。情報が断片的で、まだどうこういうには外野の勝手な意見ですが、どうお考えなのかをお聞きしたいです。

岡本 | 新NISAであろうとなかろうと日本株をどうするのかという問題ですよ。基本的に私は全世界の株式インデックスを持っていればいいという考え方です。もし日本株に対してこれから大きく変化していく可能性があると思うのであればグローバルなインデックスにプラスアルファで少しか日本株のインデックスを加えておけばいいの

ではないでしょうか。そうでなければ、時価総額をニュートラルにして、ちょっとその辺の配分比率を変えるだけのことでいいですね。全部売って日本株だけにするといいのはやめた方がいいと思います。わからないですから。

セゾン投信については資本の論理です。あえてセゾンのように言うと、林野さん悪い人、中野さんかわいそうな人、そういうムードが漂っていることは間違いだと思います。中野さんは中野さんでセゾンという大きな圧力を受けていたことは事実だし、セゾンさんはセゾンさんで株主も含めてオーナーの圧力を受けていることも当たり前のことです。もう一つは、中野さんがやってきたセゾン投信はいろいろな意味でセゾングループに属してきたメリットを受けてきたことも事実です。全部自分でお金を調達して拡大していかなくてはならなかった「さわかみ投信」とは違ってセゾンという名前がある。そこに大きな違いがあった。今まであったメリットを全部無視して、自分本来の投資として考えてきたものと違ってきているというところに相違が生じている。

二つのレッスンがあります。大手の金融機関に所属する投資信託はよく考えた方がいい。それはセゾン投信だけでなく、もっと大きい銀行の投資信託部門でも同じ事が起こらないとは限らない。金融業界が非常に苦しくなってきたときに、こんな儲からないものを止めるということがオーナーから出てこないとはいえない。何十年という人生を通じての資産運用ではそういうことは時々起る。オーナーにとっていかに投資信託が収益源として大切なものなのかという判断を常にしていかなければいけない。インデックスだから儲からない。それは安売り競争をしているから儲からない。適正なインデックスを良い商品として売っていくことで当然の利益が出ます。

もう一つは投資信託会社も含めたが企業の体制です。外部役員がセゾン投信に入っていたのかよく知りませんが、一般に外部役員は企業が選んでいます。外部役員は、消費者サイドからも選ぶ。セゾンだけでなく、投信会社も投資家の声が経営に届くような企業統治の体制が必要だと思います。それはさらに言えば、企業の外部役員も、消費者からもそれを選ぶべきだと思います。なかなかどのようにやるのかは難しいと思いますが、外部役員の選び方が、いかにも会社のご都合主義で決めているのではないのかという気がします。非常に重要な課題だと思います。今日もありがとうございました。

(文責 FIWA)

このページを印刷する

カテゴリー

FIWAマンスリー・セミナー講演 1

タグ

【Vol.248】 2023年08月15日発行



2023年8月10日

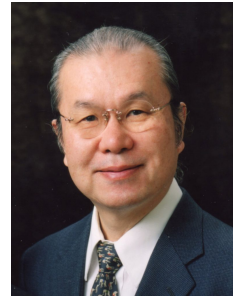
FIWAマンスリー・セミナー講演 2

【Vol.248】FIWAマンスリー・セミナー講演より（講演2）

リーダーシップとビジョン

講演 FIWA理事長
岡本 和久 CFA, FIWA®
レポーター 赤堀 薫里

いわゆる証券分析という話は、『PBR、PER、利回り、ROE、売上のマージンがどうだ』『回転率がどうだ』と数量的な部分が多い。しかし、重要な部分は、一番根っこの部分にあるその企業が、どういう企業なのか、どういう体質の企業なのかを知ることだと思います。その中で重要なことはビジョンがあって、それに基づくリーダーシップが大事だと考えています。



組織があります。その一番元になるビジョンがある。そのビジョンの基にあるのは、「なんのために存在しているのか」というミッション。そこにバリュー。企業としての価値観。変わらないものがあるということ。これは企業を分析する上でも非常に重要な部分です。

これは個人にも当てはまると思います。ビジョンというのはどういう人間になりたいのか。どういう人生を送りたいのかというのがあって、それに向かって進んでいく。そこで道を誤らないように、ずっと指導していくのが価値観というか倫理観というリーダーです。そして部下は今の自分。今の自分があっちに行ったり、こっちに行ったりと、つい楽な方に行きたがる。「いやいや、そうではないんだよ」と別の自分が指導しながら最終的にビジョンに向かっていくことだと思います。もちろん人間より企業の方がずっと命は長いわけです。長い歴史、風雪に耐え続ける価値観、ミッション、ビジョン、そして組織が非常に重要であるということが、個人にとっても企業にとっても重要なポイントです。

もう一つ重要なことは、企業とは、組織とは何かということです。組織というのは、世の中の願いを実現するために生活者が組成しているものです。要は生活者がすべてです。企業があって、その企業が作り出したものを買うのが消費者です。消費者がいないと企業は成り立ちません。また、企業の中で働いている人も生活者です。働く人がいないと企業は成り立ちません。そして最後に事業をやっていくうえではお金が必要です。資本を出してくれる人が必要です。銀行から借りる。株式で資金を調達する。債券を発行する。いろいろな調達の方法がありますが、最終的には個人のお金です。銀行から借りたといっても、銀行のもとになる預金も個人の現金です。法人の預金もあるかもしれないけれど、その法人も個人が株主として所有している存在なわけです。つまり組織はすべて生活者が関わって、生活者が生活者のために組成しています。生活者全体が望むようなものにしていく。そのために存在しています。

組織には二種類あります。一つはオーケストラ型組織。これは従来の日本の組織です。指揮者がいます。これは最高責任者。この指揮者の指示に基づいて、各楽器を持っている人たちが演奏をしていく。つまり組織にはリーダーがいて、その下に取締役や部長、課長がいて、ずらっと並んでいる。リーダーが言ったことが、上意下達でだんだん下に降りていく。これは現代の競争社会の中で成功するのが非常に難しい組織だと思います。リーダーが

プライバシー
利用規約

いる人たち全員の知識を集約して決定がなされていけばいいけれど、実際にはリーダーの判断が占める比率は非常に大きくなってしまっている。下にいる人は、『リーダーが言っているからそれでいい!』となります。いろいろな不祥事が起こっても、そういうところに問題があるのではないのかと思います。

もう一つは、このリーダーが世界に通用するような本当にすごい人なのかというと、必ずしもそうとも言えない人がたくさんいます。やはり、集団としての智慧が活かされていかない限り、今の世の中ではなかなか勝ち抜いていけないのではないのでしょうか。伝統的な日本のリーダーのイメージは組織の頂点に立つ特別のカリスマ的な人物である。すごい人なんだと。その人についていけば、人々を連れて約束の地に導いてくれる。責任と役割をリーダーが持っている。

これからの本当に必要なリーダーシップとは、ジャズコンボ型の組織です。全員が一緒になって音楽を作っていきます。どういう音楽にしたいのかという基本的な理念は共有しています。例えば、大まかなコード進行はみんなで事前に打合せして決めているわけです。それぞれの楽器をそれぞれの担当者がその枠の中で自由に演奏する。そして全体として目的とする良い音楽を作っていく。それぞれが技量や才能を発揮しながら最終的な目標に向かって進んでいく。これがジャズコンボ型組織です。

ピラミッド型やオーケストラ型とは、かなり大きな違いがあります。いろいろな人がたくさんいて、みんながお互いに関わり合いを持っている。それぞれの人や自分が向かっていく方向。会社のビジョンに向かって自分がどのように行動をとっていくべきなのかを理解して、そこに向かって進んでいく。それがいい組織であるということです。講演はリーダーシップ・モデルの比較をしながら究極のリーダーシップについて解説いただきました。また、最後に日本のリーダーシップが十分に機能しているのか疑問を呈していました。

このページを印刷する

カテゴリ

FIWAマンスリー・セミナー講演 2

タグ

【Vol.248】 2023年08月15日発行



2023年8月10日

FIWA認定会員 投稿コーナー

【Vol.248】FIWA認定会員 投稿コーナー

お客様のよりよい未来を描くためのお手伝い

寄稿：杉山 夏子 CFP, FIWA®

* FIWAは金融商品の販売を行わないアドバイザーに与えられる称号です

プロフィール：杉山 夏子

CFP®、1級ファイナンシャル・プランニング技能士、相続士®

2007年シンガポールに移住し日系コンサルティング企業で顧客サービス業務に従事。

2011年に帰国後、ファイナンシャルプランナーの資格を取得し、資産形成からご相続まで、お客様の人生に長く付き合えるファイナンシャルスタイリスト®として、相談業務から執筆、マネー講座講師として活躍中。

みなさま、こんにちは。FIWA®認定アドバイザーの杉山夏子です。金融機関などに所属しないファイナンシャルプランナーとして活動して、今年で10年になります。

ファイナンシャルプランナーになったきっかけ

わたしがFPになったきっかけは、まず、シンガポールで仕事をしていたときに感じたことです。シンガポールに進出したいビジネスオーナーの方が主なお客様でしたので、金融機関や進出支援の窓口などでの通訳や、海外と日本の税制の違いをご説明することも多かったです。また、自分も生活をしていましたので、年金や健康保険などの両国の制度の違いというのは、国の規模や成り立ちの違いでずいぶんと変わるものだと思います。ただし、当時の自分は必要な範囲だけ知り、それで満足していたのです。



2010年から2011年にかけて、実家で祖父と父が相次いで亡くなり、実家の会社を継いで実務をやっていくのが祖母と母ではやりきれず、2011年に日本に本帰国をしました。

日本に帰ってきて、社会保険や税のことをきちんと知れるFP資格が面白いと思って改めて勉強し始めてみたら、知らないことだらけ。今の自分に必要な知識、仕事に必要な部分だけの知識だけだと将来気付いたときには手遅れになってしまうかもしれない事だらけでした。知ることがとにかく面白くて、CFP、1級ファイナンシャル・プランニング技能士まで取得するに至りました。

お金のアドバイザーの必要性

FIWA®で認定しているようなお金のアドバイザーの必要性は、金融機関の人と話して、自分なりに納得して金融商品を購入しても、期待したほど増えないことに気付いたときに感じました。シンガポールにいた頃から不思議に思っていたのですが、お金を運用しようと、金融機関とやり取りし、すごく良さそうな金融商品を購入するのですが、なぜか増えない。プラマイゼロなら良い方というケースも多く、手数料が高くてお金は減ってしまうというのをもたくさん見てきました。手数料が高いと、それだけいいものに投資していると思うものです。そして自分自身も、ちょっとFPを勉強したくらいの時、金融機関でいろいろ話して良さそうだなと思った投資信託を買うと、プラスになることはほとんどないという状態が続いていました。

あるとき、今回FIWA®の理事に就任された中野晴啓さんなど、長期投資を標榜し、まっとうな投資信託の運用をされている方々がいらっしゃることを知りました。金融商品を買う人たちの都合に我々は巻き込まれる必要はないと痛切に感じ、以来、自分のお金で始めてみると嘘がないのです。資産を守りながら、増やすことができるのだと実感できたのは自分にとって大きな財産です。以来、お客様のよりよい未来を描くためのお手伝い、お客様が不安を感じずに心地よい状態であること、幸せになる、今日より明日が良くなると手応えを感じられることが大事だと思ってFPとして活動しています。

『つみたてインディくん』はお客様との信頼構築ツール

さて、昨年リリースされた株価指数連動定額積立投資のシミュレーション・ソフト～FIWAつみたてインディくんについて、少し書きたいと思います。このツールはアドバイザーの強い味方です。投資初心者や運用としての保険購入を検討しているお客様にも、過去のインデックスの実績や今後のシミュレーションを提示し、異なる金融商品の比較をし、その効果を具体的に示すことができます。

投資を始めたいというお客様は多くいらっしゃいます。最近はYoutubeで事前にお勉強をされてからいらっしゃる方も多いです。「iDeCoやNISA、やったほうがいいみたいだけど」、Youtubeはいいことしか言わない。本当にやって大丈夫ですか？

そんな方には『つみたてインディくん』を使いながらご説明をします。これまで積立をしてきたらどうだったのか、お客様の積立予定金額を入力して説明できるので、自分ごととして捉えていただきやすいようです。また、資産配分を変えて、今後のシミュレーションもできるので、はじめの一步が出ない方の背中をそっと押す。そんな効果を感じています。

運用目的で保険に入ろうと思っている方にも、インデックスのこれまでの実績や、今後のシミュレーションを示すことで、異なる金融商品の比較をしていただくことも可能になります。ご自身で運用の効果をより具体的にイメージしていただくことにつながります。保険は、保証や解約返戻金が説明されています。それに対して、投資信託は購入時点の情報しかない。過去の実績をお見せし、シミュレーションをすることで、保険の営業資料と変わらない情報提供ができるようになります。

最後に

最近20代から30代のお客様が大幅に増えています。彼らが一生涯、お金のことで不安に襲われることのないように、質の担保されたお客様の立場に立てるアドバイザーに相談できる世の中を目指して、これからもFIWA®の活動に期待しております。

このページを印刷する

カテゴリー

FIWA認定会員 投稿コーナー

タグ

【Vol.248】2023年08月15日発行

長期観測で分かる株式市場の本質 ～目先の価格変動に惑わされない視座のために～

I-O ウェルス・アドバイザーズ 代表取締役会長
NPO 法人 FIWA® 代表理事・理事長
岡本 和久 CFA® 協会認定証券アナリスト

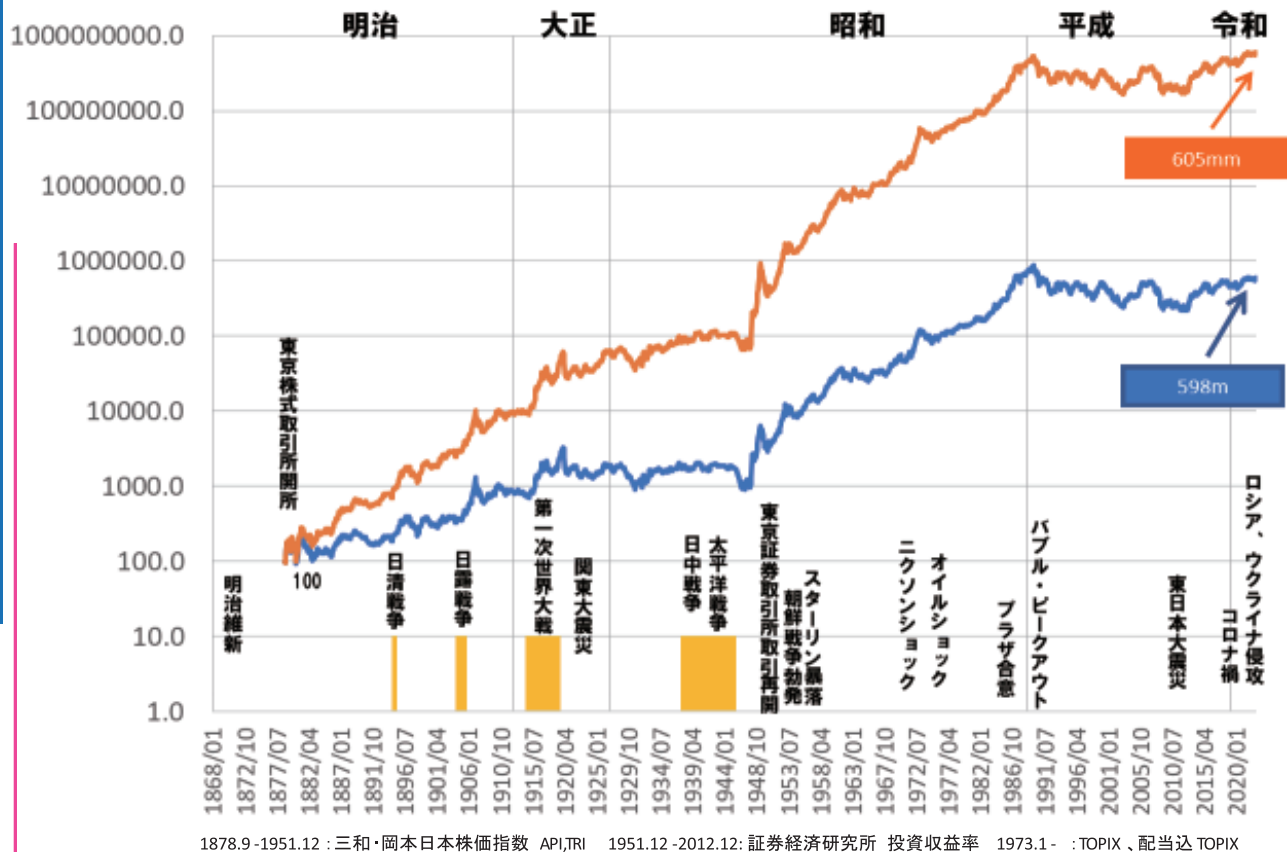
昨年2022年は明治維新から154年目の年でした。終戦の年が1945年でしたので、明治維新から終戦までが77年、終戦から2022年までが77年ということで、明治維新と今日のちょうど中間に終戦が当たったわけです。

我々は終戦後のことはそれなりにわかっているのですが、戦前のことについてあまり多くを知らないのが実情です。

私が50年以上にわたって仕事をしてきた証券市場についても、同じことが言えます。

日本で初めて株式の取引所ができたのが、1878年、明治11年のことです。これは明治維新の10年後、また、西南戦争の翌年です。さらに言えば、日本帝国憲法あるいは日銀の創設などよりも前に取引所がスタートしていたとい

兜日本株価指数（1878年～22022年）



うことです。

なぜ戦前から今日に至るまでの一貫した株価指数がないのか常々、非常に不思議に思っていました。2016年に、そのような疑問を明治大学商学部の三和裕美子教授に話したところ、三和教授から「ぜひそれを開発しましょう」というありがたいお話をいただきました。

その結果、6年の歳月をかけて2022年8月にその指数が完成しました。新指数は全銘柄を時価総額加重で算定しており、基本的に東京証券取引所が発表しているTOPIX、東証株価指数と同じ基準です。新指数も価格指数及び配当込みの株価指数の両方を算出したことによって、TOPIX (価格指数) と配当込み TOPIX のそれぞれと連結することが可能になりました。

それによって明治11年(1878年)から今日までの株式市場の指数を観ることができるようになったのです。その結果、2022年末までの約144年間の日本の株式市場は価格指数で約6000倍、配当込みでは実に約600万倍になっていたことがわかりました。

米国では100年以上にわたる株価指数の作成・研究が行われています。CRSPの研究、ジェレミー・シーゲルの著書、ロバート・シラーの研究などが有名です。そのような基礎的な研究により長期に投資をすることが株式投資の基本であり豊かな人生を送る上で不可欠なものであると言う考え方が広まったと言われます。

日本株についてもこのような長期的株価指数を見ていることで日本における投資のカルチャーも変化するのではないかと思います。私は以下の4つのことが特に個人投資家にとって有益だと考えます。

① なぜ株価指数は比較的、安定しているのか

長期的な指数のチャートを見るとなだらかに上昇しています。これは対象が指数だからです。指数に含まれ

ている個別銘柄の値動きは激しく変動していますが、全銘柄を含む指数は「分散」されている。つまり、十分に分散されたポートフォリオは比較的安定的に上昇しているということがわかります。

② なぜ株価指数のトレンドは右肩上がりなのか

それは指数に含まれる企業の価値が長期的には増大しているからです。ではなぜ価値が増加するかと言えば世界経済が成長しているからです。そしてその原動力になっているのが、どの時代のどの地域の人もみんな「より良い、ゆたかで、安心できる生活を望んでいる」という事実によるものです。人々のその欲求を満たすのが企業であり、その結果として、企業価値が増大し、株価指数もなだらかな右肩上がりのパフォーマンスを示すのです。

もちろん、しばしば、「危機」とか「ショック」が起こります。しかし、長期チャートでそれらを観てください。とても小さな変動であることがおわかりいただけるでしょう。つまり、投資は株価のギザギザで儲けるのではなくトレンドで儲けるもの、売買で儲けるのではない、保有して儲けるものなのです。

③ 時間を味方につける

このチャートの株価指数と配当込みの指数を観てください。配当込み株価指数というのは企業が支払う配当金を同じ銘柄に再投資することを意味します。これを長期間にわたって続けると配当金も加えた投資額が増加し収益拡大するのです。これが「時間を味方につける」ということです。指数が株価のみで見ると6000倍の値上りなのに配当金を再投資すると600万倍になっている理由です。

④ 歴史を学ぶことは今を学ぶこと

長期的な株価変動を観ると非常に長期の歴史の流れの大きな影響を受けていることがわかります。この点については次回以降二回にわけて解説いたします。◇



📅 2023年8月10日

動画紹介

【Vol.248】FIWA動画紹介

FIWAみんなのお金チャンネルで紹介した動画です

毎月第二水曜日にDIY資産運用講座をYouTube「みんなのお金チャンネル」で公開しています。目的は以下の2つです。

1. 投資未体験者、初診者の方に資産運用で本当に重要なことを知っていただく
2. FIWAアドバイザーが投資未体験者、初心者の方に資産運用で本当に重要なことをどのように解説すれば良いかをしていただく

各回、10～30分程度を考えています。お役に立てればうれしいです。質問もご遠慮なくどうぞ。

DIY資産運用講座3 75文字の資産形成と4つの「Why」

00:00 75文字の資産運用

03:30 長期投資

08:33 分散投資

13:15 コストに注意

18:05 積立投資

23:03 継続

28:42 まとめ

(30:56)

DIY資産運用講座第四回 5つのH...



これまでのDIY資産運用講座

はじめに 投機・投資・資産運用

<https://youtu.be/zjVgaujYaCw>

第一回 今年の収入は今の生活費と将来の生活費の両方です

プライバシー
利用規約

https://youtu.be/40t1_4krC7o

第二回 株式会社と金利を学ぼう

<https://youtu.be/ERhLpqApdQA>

第三回 75文字の資産形成と四つのWHY

<https://youtu.be/6EmayPLZFjY>

第四回 75文字の資産形成と五つのHOW

<https://youtu.be/J8QOGIR0HDg>

株式市場はいつ史上最高値を更新するのですか？(みんなのお金チャンネル 岡本 和久)

00:00 何度もあったバブル的株価上昇

02:00 戦後復興と朝鮮動乱

03:53 「もはや戦後ではない」

05:05 いざなぎ景気、大阪万博j、列島改造

05:30 80年代後半のバブル

06:06 今回の個人投資家の動きはいままでと違う

06:56 日経平均とTOPIX

10:22 40年前、アメリカも個人の金融資産に占める株式などは一割程度だった

11:39 アメリカで「株式の死」と言われた時代に新しい産業の芽生えがあった

14:03 日本企業こそ「貯蓄から投資へ」

(17:47)

株式市場はいつ史上最高値を更新するのですか？(みんなのお金チャンネル 岡本 和久)



このページを印刷する

カテゴリー

動画紹介

タグ

【Vol.248】 2023年08月15日発行

子どもにマネー教育が必要ということはよく言われるところです。でも、マネー教育とひと口に言っても、実は、「使い方」「貯め方」「増やし方」などいろいろな側面があります。そのなかでも大切なのは、「寄付」ということではないかと思います。

寄付によって、子どもたちがどのようにおカネや社会のことを学ぶことができるか、日本フィランソロピー協会理事長の高橋陽子さんに子どもが行う「マネーハーベスト・プロジェクト」について伺いました。

タイガーマスク現象は民主主義の萌芽

岡本 | インベストライフの2月号で高橋さんにタイガーマスク現象のお話を伺いました。そのなかで、タイガーマスク現象を「民主主義の萌芽(ほうが)」とおっしゃっていた。それが非常に印象に残っています。どうも、われわれ、困った人を見ると「政府は何をしているのか」と思いがちですが、タイガーマスク現象は、もう、政府には頼れない。困った人がいたら自分のできる範囲で助けようということなのかもしれません。そういう意味では本当に民主主義が萌芽してきたといえると思います。



高橋 | そうだと思います。

岡本 | やや自嘲的に「日本は最も成功した社会主義国家だ」という話を聞きますが、意識していようがいまいが、個人も企業も何かあると、公的部門頼りになる傾向があった。その結果、公的部門の体力が極端に弱くなり、どの政党が政権をとろうと肝心の体力がないから何もできないことが明確になってきた。そこで、もう、政府頼りではウチがあかない、自分たちで生き延びようという気持ちがみんなに出てきているように思います。私自身、昨年末から何となく日本に明るい雰囲気を感じるのとはそんなところに原因があるのかもしれない。

高橋 | みんな、肌で感じるようになっていっているのでしょう。「このままではまずい」という「種の保存本能」かもしれません。タイガーマスク現象もそうですが、やはり、メディアの影響が大きいので、皮肉ったり揶揄(やゆ)したりする報道はしないでもらいたいですね。

岡本 | ここのところちょっと話題になっていませんが、このような現象を一過性のものとしてとらえて欲しくないですね。むしろ、この運動を育てるという意識を持ってもらいたい。日ごろ、おカネに関する暗い、汚い出来事がたくさん報道されているので、おカネのイメージがどんどん悪くなってしまうのが心配です。ですから、このような善意の裏づけのあるおカネの使い方というのは盛り立てたいし、マスコミにもがんばってもらいたい。

高橋 | おカネに最初から色をつけるのはおかしいですからね。

岡本 | 新聞なんかでも、ひとつ、ネガティブなニュースを掲載したら、ひとつはポジティブなニュースを探すなどの配慮が欲しいと思いますね。

高橋 | ほんと、そうですよ。すごく大切ですよね。結局、メディアの人もコメンテーターの人もあまり寄付をしていないのではないのでしょうか？ あるいは、していても口にしないのか……。

- 岡本 | 昨年12月1日の日経新聞に小さな記事が出ていたんです。岡山県の85歳の女性が「クマの餌を買うおカネに使って」というので13万円を寄付したというんですね。市はドングリがなるブナ科の苗木200本を発注して、職員が手分けして植樹したそうです。「自治体の責任をクマに押し付けしないで」ということで寄付をした。本当は宝くじを買うおカネだったそうです(笑)。これなんか、ちょっといい話でしょう。こういう記事をもっと載せて欲しい。
- 高橋 | いい話ですね。もっとこういう話がみんなに知られるといいですね。
- 岡本 | 寄付は決してお金持ちの専売特許じゃない。日本フィランソロピー協会の「まちかどのフィランソロピスト賞」にしても、受賞者はみんな一般の人ですよ。最近では学生も結構、受賞していますよね。
- 高橋 | そうです。ごく自然体で寄付や社会貢献をしています。特に子どもたちは楽しんでいるようです。日本では寄付文化があまりないといいます。確かにそうなんです、では、希望が持てないかということそんなことはありません。よく考えてみると、日本には昔から「おひねり」というのがあるでしょう。
- 岡本 | ああ、舞台が終わったとき、役者にご祝儀としてあげた投げ銭ですね。おカネをそのまま投げるのではなく、紙に包んでひとひねりして投げたので「おひねり」。
- 高橋 | これがもう少し広がるといいと思います。
- 岡本 | なるほど。確かに「おひねり」の良い点は中にいくら入っているかわからない。いくら金額が少なくても恥ずかしいなど思う必要がなく、気持ちだけでいい。そして、それを全部集めてしまえば、どれが誰の分かわからなくなる。だから気楽にできるし、自分もちょっと気分がいい。
- 高橋 | そうですね。できる範囲で気楽に自分の「他利」の気持ちを表現すればいいんですよ。
- 岡本 | やはり、教育ということがベースになると思うのですが、日本フィランソロピー協会で開催される「ペニーハーベスト・プロジェクト」についてお話をいただけますか？

「ペニーハーベスト・プログラム」とは

- 高橋 | はい。ひと言で言えば、子どもが行う募金活動です。アメリカでコモン・センツというNPO法人が1991年から始めた活動です。「ペニー」というのはアメリカのコインで最小単位の1セント玉です。日本円で今なら0.8円。「ハーベスト」は収穫。4歳から14歳の子どもたちが小銭を集めてきて募金活動を行うことで社会のことや、おカネの大切さを学ぼうという教育プログラムなんです。すでに926の学校が参加して、770万ドル以上が集まる大きなムーブメントになっています。



- 岡本 | 770万ドルといえば6億円以上。子どもたちがそれだけ集めるとはすごいですね。
- 高橋 | アメリカの学校は、学期が9月から始まり5月に終わるので、その期間が活動のサイクルということになります。その間に作物を収穫するように、募金を集め寄付をします。

子どもたちの代表が話し合い、社会の抱える課題に取り組んでいる役所やNPOを選び、そこに寄付をする。子どもたちはその過程で、寛容性や道徳心、公共心を身につけるし、募金集めの経験を通して、社会の仕組みを理解し、リーダーシップ、コミュニケーション力、チームワークなどを身につけるようになるわけです。これは、サービスラーニングとって社会貢献を教材にして、知的学習のなかに取り入れて学ぶ、というものです。また、地域との連携が強化されるというメリットもあります。

岡本 | 自分たちで考えて行動するという点が重要ですね。そして、善意の目的で使うということから入れば自然におカネのイメージもよくなるでしょうね。何といても「他利」になることをすると自分がうれしい、気持ちいいということを実感できる。もう少し、活動内容を教えてください。

高橋 | 4段階の活動があります。まず、第1段階は、学校などでグループを作って、子どもたちが地域の抱える課題を調査します。行政やNPOを訪問して、その活動内容を学び、自分たちでどこに募金を寄付するか、議論して決めます。

目的が決まったら、第2段階に入ります。子どもたちが近所を回って小銭を集める募金活動をするんですね。募金活動が終わった第3段階では、もう一度NPOを調べ直し、どこにいくら寄付するかを決め、寄付を手渡します。同時にボランティアプログラムなども並行して企画し、実行します。そして、最後の第4段階では、子どもたちがパーティなどのイベントを企画し、開催します。ざっとこんな感じです。

岡本 | あくまで子どもたちが自分の頭で考えて、自分たちで調査し、行動するという点が素晴らしいですね。

高橋 | ちょっとこの写真を見てください。ニューヨークのマンハッタン、そのミッドタウンの真ん中の五番街にロックフェラーセンターがありますよね。2007年12月にロックフェラーセンター前の広場にトラック数十台分の大量の1セント玉が集められたのです。全部、子どもたちが集めたおカネです。

岡本 | 私も通算11年、ニューヨークに住んでロックフェラーセンターはなじみの場所ですが、12月という時節柄、そこはエンジェルの装飾がきれいなところですよ。あそこがペニーで埋め尽くされたと思うと感動しますね。ペニーは銅貨ですが、この写真では光り輝いて見えます。



(<http://www.jmg-galleries.com/blog/2007/12/26/christmas-time-in-new-york-city-the-penny-harvest>)

高橋 | 盗難を防止するためにセキュリティが寝ずの番で大変だったそうです。コロンビア大学が、ペニーハーベストプログラムに参加した教師を聞き取り調査し、結果をまとめています。「生徒たちが自信をつけた」「生徒たちが他人の気持ちがわかるようになった」など、とてもよい結果が得られています。

ペニーハーベストプログラムに参加した教師からの聞き取り調査結果
(米コロンビア大学による調査)

◆生徒がペニーハーベストに参加した事による成果◆

| | |
|--------------------------|------|
| ・生徒たちが自信をつけた | 100% |
| ・生徒たちが他人の気持ちがわかるようになった | 100% |
| ・チームワークの大切さを教えられた | 99% |
| ・生徒たちに地域のニーズを教えられた | 97% |
| ・生徒たちが学校の勉強により専念するようになった | 76% |

◆生徒がフィランソロピー・ラウンドテーブル(※)に参加した事による成果◆

| | |
|--------------------------|-----|
| ・何かを変える力があると生徒が信じるようになった | 97% |
| ・生徒が将来リーダーになる可能性が高まった | 96% |
| ・生徒のコミュニケーション能力が高まった | 96% |

(※フィランソロピー・ラウンドテーブル…ペニーハーベストで集まった資金を地域のどのような問題に使うか生徒の代表者たちが話し合いによって決める集まり)

◆学校がペニーハーベストに参加した事による成果◆

| | |
|------------------------|-----|
| ・学校がより地域と連携できるようになった | 99% |
| ・生徒の保護者がより学校に関わるようになった | 71% |

2011/1/24

Copyright©2011 Japan Philanthropic Association All rights reserved

7

(日本フィランソロピー協会資料より)

岡本 | これを今度、日本でなさろうとしているわけですね。

高橋 | そうです。日本で行う目的は大きく三つあります。まず、第1が日本に寄付文化を醸成すること。行政に依存するのは限界があります。民間が公益活動を担うという文化を作っていきたいのです。

岡本 | 個人が税金を納めて、それを政府が福祉目的で配分するのではない、個人が自分の判断で自分の意思を持って寄付先を決める。ちょうど、個人が銀行におカネを預けて銀行が融資先を決めるのと、自分で投資先を選んで株式や債券を買うのと同じですね。金融では前者を間接金融、後者を直接金融といいます。寄付も間接寄付ではなく、直接寄付になればいいですね。子どもたちが直接寄付の楽しさを感じてくれれば寄付文化も醸成されるでしょうし、子どもから大人が変わっていくということもあるでしょう。

高橋 | 第2が子どもの人間としての成長を促進したいこと。これには自己肯定感の醸成とリーダーシップ力の向上のふたつがあります。

まず、自己肯定感の醸成ですが、これは、自分がかげがえのない存在であること、思いやりのある道徳心を持った人間になること、そして、社会の一員としての責任を持つことの三つを理解させることが目的です。リーダーシップ力の向上については、他者に働きかけることを通じて、自らの役割を認識すること、チームワーク力、表現力、コミュニケーション力、達成力を身につけてもらいたいと思います。

岡本 | なるほど。

高橋 | そして大きな目的の三つ目が学校と地域の連携促進です。

岡本 | 結局、寄付という活動を入口として、社会の仕組みや自分の生き方、おカネのことなど幅広く学んでいこうということですね。このような経験を子どものころにできたら本当に素晴らしいと思いますよ。一生の誇りにもなるし、宝にもなる。そして、より良い生き方を考えられるようになる。

高橋 | 自分の心のなかにある「他利」の気持ちとおカネを、行動を通じて結び付けていくことが大切です。

日本で寄付文化を定着させるために

岡本 | 私も常々、投資教育の前にマネー教育が必要だといっていますが、「寄付」という行動を通じておカネとの正しい付き合い方を学ぶというのとはとても素晴らしい。

実は、昨年、アメリカでちょっとおもしろい貯金箱を見つけたんです。かわいい子豚の貯金箱で、アメリカではピギーバンクと呼ばれています。私の新著、『賢い芸人が焼き肉屋を始める理由 * 投資嫌いのための「和風」資産形成入門』(83ページ)でも紹介したのですが、おもしろいことにこの貯金箱はおカネを入れる口が四つあります。



高橋 | (本の写真を見て)わー、かわいい！

岡本 | かわいいでしょう。それで四つの口というのが、SAVE(貯める)、SPEND(使う)、DONATE(寄付する)、INVEST(投資する)に分かれていて、おカネがそれぞれの足から取り出せるようになっています。よく考えると、これは、「貯金」箱ではなくて、おカネの「使い方」箱ですよ。4歳から11歳の子どもの向きだそうですね。

高橋 | いいですね、これ！ DONATEのところがお腹の一番太いところになっているのがうれしいですね(笑)。

岡本 | さすが鋭い着眼ですね！ それ以来、私のセミナーなどでも、参加者に「SAVEとINVESTはどう違うかわかりますか？」って聞くんです。そうすると意外にみんなわからない。「これ、アメリカでは4歳から11歳の子が勉強することなんだよ」って言うんですが、みんな苦笑いしています(笑)。

高橋 | 改めて聞かれると「？」って思う人も多いでしょうね。

岡本 | このピギーバンクのおカネの入れ口にステッカーを貼れるんです。たとえば、SPENDのところにはハンバーガー、SAVEには自転車、DONATEにはギフトボックス、そして、INVESTには学帽です。これを見るとよくわかります。SPENDは今の自分の欲求を満たすことを目的として使うおカネです。SAVEは自転車のように1カ月のお小遣いでは買えないものを買うために貯めておくおカネ、取っておくおカネですよ。DONATEは人を喜ばせるおカネ、そして、INVESTは将来の自分を支えるためのおカネということになります。

高橋 | 素晴らしい……………。

岡本 | INVESTについていえば、将来の自分を支えるためには、単に引き出しに入れておくだけでは不十分です。やはり、増やさなければなりません。これがSAVEとの違いですね。SAVEはただ貯めておくだけ。INVESTは増やす。それではどうしたら増えるかという、今、おカネを必要な人に用立ててあげる。その人はそのおカネを活用して収益を得る。そして、感謝の意を込めて収益の一部をお返し(リターン)してくれる。こうしておカネが増えるわけですね。

さらに、おカネを用立てるときには、おカネを貸すという選択肢と、おカネを投ずる、つまり、事業にオーナーとして参加するという選択肢があります。こんな切り口で話を広げていくと、投資のことで全然違った印象の説明になるんですね。投資というすぐ、「売ったり買ったりで、儲けたり、損したり」って思う人が多い。このピギーバンクは本当に合ってよかったと思います。いつか、インベストライフ・バージョンを作りたいと思っています。

高橋 | ぜひ、ぜひ。

岡本 | 要するに大切なのはお小遣いをどう使うかということなんですよ。日本の招き猫の貯金箱だと背中におカネの入れ口がひとつある。そして、使うときは貯金箱を割らないといけない。つまり、「できるだけ使わないで取っておきなさい」というメッセージが込められているような感じです。

一方、こちらは、「おカネの使い方を考えなさい」と言っている。日本の個人がひたすら銀行におカネを預けているのも、猫の貯金箱におカネをチャリン、チャリンと入れているのと同じイメージです。もっと、おカネを活用すれば、増やせるし、おカネを用立ててもらった人がビジネスを積極的に展開できるかもしれない。まあ、アメリカの貯金箱がすべてこのような形式ということではなく、これはあくまでマネー教育用の教材だと思いますが。

高橋 | 毎日、これを見ていると自然におカネを大切に使う習慣が身につくでしょうね。

岡本 | 反対に日本の貯金箱を毎日見ていると、ひたすらおカネを使わない習慣が身につく(笑)。もうひとつ言えるのは、学帽のステッカーで表される学資ですよ。これも、将来の学資は自分で準備しなければいけないということが刷り込まれていく(笑)。まあ、自立のトレーニングですね。ペニーハーベストに話を戻すと、今後はどのような展開になりますか？

高橋 | 5月末にアメリカからコモン・センツのテディ・グロス氏を招いてお披露目のシンポジウムをします。東京と関西で予定しています。3年ぐらいはがんばり続けなければいけないと思っています。

岡本 | シンポジウムもこのプロジェクトも大成功されることを祈っています。また、ご協力できることは喜んでさせていただきます。

今日は寄付という視点からおカネのことをお伺いしましたが、とても興味深く参考になりました。お忙しいところ、大変ありがとうございました。

「寄付文化を日本に根付かせよう」シンポジウム(仮題)

日本に寄付の文化を根付かせるために、寄付の文化が根付いているアメリカよりテディ・グロス氏を招いてのシンポジウムを開催。

- ・東京 5月28日(土)
- ・奈良 5月末日

※詳細は日本フィランソロピー協会ホームページ(<http://www.philanthropy.or.jp/>)を参照ください。

<モデルポートフォリオ:2023年7月末の運用状況>

単位: %

| | | トータルリターン | | | | リスク | 1万円ずつ積み立てた場合の投資額に対する騰落率 | | | |
|------|-----|----------|-------|------------|-------------|-------|-------------------------|------------|------------|--------------|
| | | 1ヵ月 | 1年 | 5年 (年率) | 10年 (年率) | | 10年 (年率) | 1年 12万円 | 5年 60万円 | 10年 120万円 |
| 4資産型 | 積極型 | 0.98 | 17.64 | 10.08 | 10.33 | 13.94 | 14.79 | 41.66 | 72.53 | 183.12 |
| | 成長型 | 0.08 | 11.00 | 6.98 | 7.38 | 9.40 | 9.86 | 26.09 | 45.17 | 119.16 |
| | 安定型 | -0.81 | 4.58 | 3.75 | 4.34 | 5.47 | 5.08 | 12.01 | 21.50 | 66.43 |
| 2資産型 | 積極型 | 1.27 | 16.85 | 11.99 | 11.35 | 15.40 | 14.97 | 47.56 | 84.87 | 227.86 |
| | 成長型 | 0.28 | 11.24 | 8.70 | 8.35 | 11.02 | 10.75 | 31.53 | 54.80 | 149.92 |
| | 安定型 | -0.71 | 5.77 | 5.26 | 5.26 | 7.36 | 6.63 | 16.99 | 28.91 | 86.53 |

* 投資にかかるコストは控除していない。積み立ては、税引き前分配金再投資。ポートフォリオは毎月リバランスをしたものとする。積み立ては計算月数分を運用したものとする。例えば1年の場合は2022年7月末に1万円投資資金を積み立て始め、2023年6月末の投資資金までとする(2023年7月末積み立て分は運用期間がないため含めていない)。出所:イボットソン・アソシエイツ・ジャパンがMorningstar Directにより作成。Morningstar Directについてのお問い合わせは、イボットソン・アソシエイツ・ジャパンのお問い合わせメール(<https://www.ibbotson.co.jp/contact-us/>)まで。

ポートフォリオの資産配分比率(外貨建て資産は円換算ベース)

| 4資産型 | | 国内株式: TOPIX | 外国株式: MSCI KOKUSAI | 国内債券: NOMURA- BPI (総合) | 外国債券: FTSE WGBI (除く日本) | |
|------|--|------------------------------|--------------------------|---------------------------------|------------------------------|-----|
| | | 積極型 | 40% | 40% | 10% | 10% |
| | | 成長型 | 25% | 25% | 25% | 25% |
| | | 安定型 | 10% | 10% | 40% | 40% |
| 2資産型 | | 世界株式: MSCI ACWI (含む日本) | | 世界債券: FTSE WGBI (含む日本) | | |
| | | 積極型 | 80% | 20% | | |
| | | 成長型 | 50% | 50% | | |
| | | 安定型 | 20% | 80% | | |

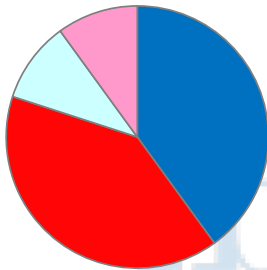
ポートフォリオは「インベストラ이프」が参考のために考案した資産配分に基づき、イボットソン・アソシエイツ・ジャパンがデータを算出しています。特定の資産配分による投資の推奨を行うものではありません。

「長期投資仲間」通信『インベストラ이프』のその他の記事はこちらからご覧ください。
<http://www.investlife.jp/>

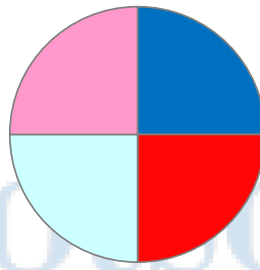
4資産型

- 国内株式: TOPIX
- 外国株式: MSCI KOKUSAI
- 国内債券: NOMURA-BPI (総合)
- 外国債券: FTSE WGBI (除く日本)

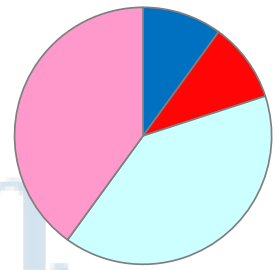
積極型



成長型



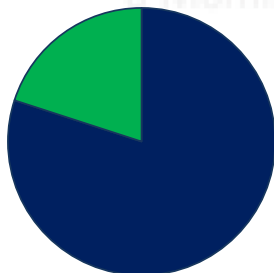
安定型



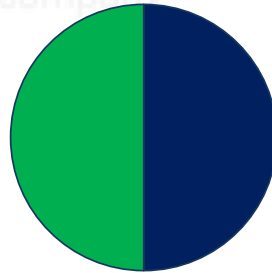
2資産型

- 世界株式: MSCI ACWI (含む日本)
- 世界債券: FTSE WGBI (含む日本)

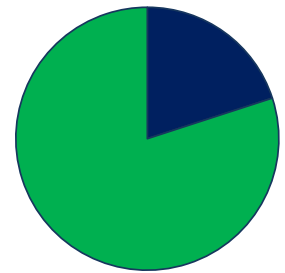
積極型



成長型



安定型



<国内で購入可能な代表的ETF:2023年7月末の運用状況>

当資料は「インベストライフ」のために、イボットソン・アソシエイツ・ジャパンがデータを算出、作成しています。特定の投資信託による投資の推奨を行うものではありません。※ファンド名をクリックするとそのファンドの詳細を見ることができます。

「長期投資仲間」選定「インベストライフ」のその他の記事はこちらをご覧ください。http://www.investlife.jp/

* 投信ブログ 「梅屋敷商店街のランダムウォーカー(インデックス投資実践記)」の管理人、水瀬ケンイチさんのご協力で銘柄を選定しました。なお、国内株式、債券、コモディティについては「インベストライフ」が選定しました。

| Ticker | ファンド名 | トータルリターン (米ドル換算) | | | | | トータルリターン (円換算) | | | | | リスク (円換算) | | 1万円ずつ積み立てた場合の投資額に対する騰落率 | | | | | 1万円ずつ積み立てた場合の月末資産額 | | | | 純資産 2023年7月末 | | 総経費率または信託報酬 (%) | イボットソン 分類 | 連動を目指す投資対象指数 |
|--------|-----------------------------------------|------------------|-------|---------|---------|----------|----------------|-------|---------|---------|----------|-----------|----------|-------------------------|---------|---------|-----------|---------|--------------------|---------|-----------|---------|--------------|--------|------------------|----------------------------------------------------|--------------|
| | | 1か月 | 1年 | 5年 (年率) | 7年 (年率) | 10年 (年率) | 1か月 | 1年 | 5年 (年率) | 7年 (年率) | 10年 (年率) | 10年 (年率) | 10年 (年率) | 1年 12万円 | 5年 60万円 | 7年 84万円 | 10年 120万円 | 1年 12万円 | 5年 60万円 | 7年 84万円 | 10年 120万円 | 百万ドル | 億円 | | | | |
| 1308 | 上場インデックスファンドTOPIX (日興AM) | 3.24 | 15.56 | 3.22 | 5.77 | 5.79 | 1.49 | 22.85 | 8.27 | 10.82 | 9.75 | 16.45 | 14.45 | 17.94 | 40.24 | 48.07 | 65.80 | 14.15 | 84.14 | 124.38 | 198.96 | 62,962 | 89,457 | 0.0968 | 国内株式・大型ブレンド型 | TOPIX(配当込み) | |
| 1348 | MAXIS トピックス上場投信 (三菱UFJ国際) | 3.24 | 15.57 | 3.23 | 5.77 | 5.79 | 1.49 | 22.86 | 8.27 | 10.82 | 9.75 | 16.45 | 14.45 | 17.94 | 40.27 | 48.10 | 65.81 | 14.15 | 84.16 | 124.40 | 198.97 | 20,032 | 28,462 | 0.0858 | 国内株式・大型ブレンド型 | TOPIX(配当込み) | |
| 1554 | 上場インデックスファンド世界株式 (MSCI ACWI)除く日本 (日興AM) | 3.44 | 11.94 | 8.42 | 9.37 | 8.37 | 1.69 | 19.01 | 13.71 | 14.60 | 12.43 | 18.41 | 15.97 | 16.47 | 55.80 | 73.37 | 98.49 | 13.98 | 93.48 | 145.63 | 238.19 | 65 | 93 | 0.264 | 外国株式・世界型 (除く日本) | MSCI ACWI ex Japan指数 (円換算) | |
| VT | Vanguard・トータル・ワールド・ストックETF | 3.68 | 12.68 | 8.22 | 9.93 | 8.81 | 1.92 | 19.79 | 13.50 | 15.18 | 12.88 | 18.70 | 16.07 | 17.23 | 57.18 | 75.18 | 102.56 | 14.07 | 94.31 | 147.15 | 243.07 | 29,585 | 42,035 | 0.07 | 外国株式・世界型 | FTSE グローバル・オールキャップ指数 | |
| I CO | iShares® グローバル 100 ETF | 2.47 | 14.87 | 12.37 | 13.44 | 10.76 | 0.73 | 22.11 | 17.86 | 18.86 | 14.91 | 19.41 | 16.09 | 20.19 | 75.73 | 103.12 | 139.77 | 14.42 | 105.44 | 170.62 | 287.73 | 4,098 | 5,823 | 0.4 | 外国株式・世界型 | S&P グローバル 100 指数 | |
| TOK | iShares® MSCI コクサイ ETF | 3.28 | 13.50 | 9.79 | 11.11 | 9.86 | 1.53 | 20.66 | 15.15 | 16.42 | 13.98 | 19.59 | 16.59 | 17.95 | 63.87 | 85.25 | 116.36 | 14.15 | 98.32 | 155.61 | 259.64 | 201 | 285 | 0.25 | 外国株式・世界型 | MSCI KOKUSAI(コクサイ)指数 | |
| EFA | iShares® MSCI EAFE ETF | 2.72 | 15.94 | 4.54 | 6.58 | 5.15 | 0.98 | 23.26 | 9.65 | 11.67 | 9.09 | 18.13 | 16.21 | 17.12 | 47.51 | 56.60 | 68.67 | 14.05 | 88.50 | 131.55 | 202.40 | 51,422 | 73,061 | 0.33 | 外国株式・大型ブレンド型 | MSCI EAFE 指数 | |
| VSS | Vanguard・FTSE・オールワールド (除く米国)スモールキャップETF | 4.67 | 8.99 | 2.60 | 5.21 | 4.90 | 2.89 | 15.86 | 7.61 | 10.24 | 8.83 | 18.55 | 17.45 | 14.52 | 39.15 | 46.07 | 59.08 | 13.74 | 83.49 | 122.70 | 190.89 | 9,023 | 12,819 | 0.07 | 外国株式・中・小型ブレンド型 | FTSEグローバル・スモールキャップ(除く米国)指数 | |
| VTI | Vanguard・トータル・ストック・マーケットETF | 3.57 | 12.62 | 11.35 | 12.74 | 12.08 | 1.82 | 19.73 | 16.79 | 18.13 | 16.28 | 20.76 | 17.25 | 18.21 | 68.02 | 94.94 | 138.99 | 14.18 | 100.81 | 163.75 | 286.78 | 322,737 | 458,545 | 0.03 | 米国株式・大型ブレンド型 | CRSP USトータル・マーケット指数 | |
| VB | Vanguard・スモールキャップETF | 4.95 | 9.07 | 7.23 | 9.66 | 9.28 | 3.17 | 15.95 | 12.47 | 14.90 | 13.37 | 23.82 | 20.47 | 14.34 | 54.85 | 72.56 | 102.89 | 13.72 | 92.91 | 144.95 | 243.47 | 47,614 | 67,649 | 0.05 | 米国株式・小型ブレンド型 | CRSP USスモールキャップ指数 | |
| EEM | iShares® MSCI エマージング・マーケット ETF | 6.12 | 7.85 | 1.08 | 4.48 | 2.85 | 4.32 | 14.65 | 6.02 | 9.47 | 6.70 | 18.03 | 17.97 | 14.04 | 26.81 | 33.31 | 44.15 | 13.68 | 76.08 | 111.98 | 172.98 | 24,941 | 35,436 | 0.69 | 外国株式・新興国型(複数国) | MSCI エマージング・マーケット指数 | |
| WVO | Vanguard・FTSE・エマージング・マーケットETF | 5.91 | 8.12 | 2.69 | 5.16 | 3.72 | 4.12 | 14.94 | 7.71 | 10.19 | 7.61 | 17.88 | 17.56 | 13.55 | 32.80 | 40.55 | 52.89 | 13.63 | 79.68 | 118.07 | 183.47 | 77,096 | 109,538 | 0.08 | 外国株式・新興国型(複数国) | FTSEエマージング指数 | |
| FM | iShares® MSCI フロンティア & セレクト EM ETF | 6.81 | 4.45 | 1.42 | 4.53 | 2.63 | 4.99 | 11.04 | 6.38 | 9.52 | 6.48 | 17.01 | 15.40 | 14.19 | 30.58 | 35.80 | 41.91 | 13.70 | 78.35 | 114.07 | 170.29 | 674 | 958 | 0.8 | 外国株式・新興国型(複数国) | MSCI フロンティア&エマージング・マーケット・セレクト指数 | |
| I GOV | iShares® 世界国債(除く米国)ETF | 0.59 | -5.09 | -3.94 | -3.08 | -1.78 | -1.12 | 0.89 | 0.75 | 1.55 | 1.90 | 6.53 | 8.10 | 4.16 | 2.47 | 3.79 | 5.04 | 12.50 | 61.48 | 87.18 | 126.05 | 1,177 | 1,673 | 0.35 | 外国債券・世界型 | S&Pシテインググループ・国際・インフラ・テクノロジー・ヘッジ・トレジャリー・ボンド指数(除く米国) | |
| AGG | iShares®・コア 米国総合債券市場 ETF | -0.07 | -3.34 | 0.72 | 0.31 | 1.46 | -1.77 | 2.76 | 5.64 | 5.10 | 5.26 | 7.58 | 4.38 | 3.57 | 16.53 | 21.50 | 27.49 | 12.43 | 69.92 | 102.06 | 152.98 | 93,888 | 133,396 | 0.03 | 米国債券・中長期型 | パークレイズ米国総合指数 | |
| TI P | iShares®・米国物価連動国債 ETF | 0.15 | -5.46 | 2.42 | 1.72 | 1.87 | -1.55 | 0.51 | 7.43 | 6.58 | 5.69 | 8.00 | 5.05 | 3.02 | 24.06 | 30.58 | 37.10 | 12.36 | 74.43 | 109.69 | 164.52 | 21,979 | 31,227 | 0.19 | 米国債券・インフレヘッジ型 | パークレイズ 米国TIPS指数(シリーズL) | |
| RWK | SPDR ダウ ジョーンズ インターナショナル リアル エステート ETF | 5.64 | -7.45 | -2.81 | -1.53 | 0.61 | 3.85 | -1.61 | 1.94 | 3.17 | 4.37 | 16.88 | 16.44 | 4.98 | 11.01 | 13.16 | 16.73 | 12.60 | 66.60 | 95.05 | 140.07 | 345 | 491 | 0.59 | 海外不動産(除く米国)セクター型 | ダウ・ジョーンズ・グローバル(除く米国)セレクト・リアル・エステート・セキュリティーズ指数 | |
| I YR | iShares®・米国不動産 ETF | 1.74 | -9.36 | 4.46 | 3.58 | 6.33 | 0.01 | -3.64 | 9.57 | 8.52 | 10.31 | 19.94 | 17.97 | 5.12 | 31.07 | 42.89 | 62.88 | 12.61 | 78.64 | 120.02 | 195.46 | 2,862 | 4,066 | 0.39 | 米国不動産セクター型 | ダウ・ジョーンズ米国不動産指数 | |
| GSG | iShares® S&P GSCI コモディティ・インデックス・トラスト | 10.58 | -6.30 | 4.53 | 6.36 | -4.00 | 8.71 | -0.39 | 9.63 | 11.44 | -0.40 | 25.15 | 22.36 | 6.79 | 74.54 | 76.64 | 61.34 | 12.82 | 104.72 | 148.38 | 193.60 | 1,087 | 1,544 | 0.75 | コモディティ・総合 | S&P GSCI商品指数 | |
| GLD | SPDR®ゴールド・シェア | 3.02 | 11.94 | 9.61 | 5.22 | 3.72 | 1.27 | 19.00 | 14.96 | 10.25 | 7.60 | 11.78 | 14.47 | 11.19 | 47.98 | 61.50 | 73.11 | 13.34 | 88.79 | 135.66 | 207.73 | 57,822 | 82,154 | 0.4 | コモディティ・貴金属 | 金地金価格 (ロンドン午後決め値) | |

*積み立ては税引き前配金再投資、計算月数分を運用したものとします。例えば1年の場合には2022年7月末に1万円で積み立てを開始し、2023年6月末投資分までの2023年7月末における運用成果とする(2023年7月の積み立て額は入れない)。
 出所: MorningstarDirect のデータを用いてイボットソン・アソシエイツ・ジャパンが作成。MorningstarDirectについてのお問い合わせはイボットソン・アソシエイツ・ジャパンのお問い合わせメール(<https://www.ibbotson.com.jp/contact-us/>)にてお気軽にご返信ください。